

笠木 哲也

KASAGI, Tetsuya



准教授

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

✉ kasagi-t@kankyo-u.ac.jp

主な担当科目 生態学基礎, 植物学概論, 生態系サービス論

研究者略歴

- 1992 (平成 4) 年 3月 宇都宮大学農学部卒業
- 1992 (平成 4) 年 4月 (株)カーター・アート環境計画 (現 (株)環境・グリーンエンジニア)
- 1997 (平成 9) 年 3月 北海道大学大学院地球環境科学研究科博士前期課程修了
- 2002 (平成14) 年 9月 北海道大学大学院地球環境科学研究科博士後期課程修了
- 2004 (平成16) 年10月 金沢大学地域連携推進センター研究員 (～2015年3月)
- 2006 (平成18) 年 4月 金沢大学環日本海域研究センター研究員 (～2016年3月)
- 2007 (平成19) 年 4月 石川県立総合看護専門学校非常勤講師 (～2014年9月)
- 2013 (平成25) 年10月 石川工業高等専門学校非常勤講師 (～2015年3月)
- 2015 (平成27) 年 4月 遊学館高等学校講師 (～2016年3月)
- 2016 (平成28) 年 4月 公立鳥取環境大学環境学部准教授

取得学位 博士 (地球環境科学/北海道大学)

専門分野 植物生態学, 送粉生態学, ハナバチ類

現在の研究テーマ

- ・植物の繁殖特性と送粉昆虫の行動の関係
- ・各種生態系における送粉ネットワークの構造
- ・外来植物が送粉ネットワークに及ぼす影響
- ・シカの食害と森林生態系との関係

所属学会 日本生態学会, 種生物学会, 日本森林科学会, 植物地理・分類学会

研究等活動

【論文】

- ・笠木哲也, 宇都宮大輔, Windra, P., 中村浩二 (2015) 外来植物が在来植物とハナバチ類の関係に及ぼす影響. 日本海域研究, 46: 43-48.
- ・笠木哲也, 中村浩二 (2013) 加賀地域の標高経度に沿ったハナバチ相の比較. 日本海域研究, 44: 1-9.
- ・笠木哲也, 大宮正太郎, 木村一也, 金子洋平, 本間航介, 湯本貴和, 中村浩二 (2012) 能登半島と佐渡島におけるハナバチ類の種組成と分布. 日本海域研究, 43: 9-17.
- ・Kudo, G., Kimura, M., Kasagi, T., Kawai, Y., and Hirao, A.S. (2011) Habitat-species responses of alpine plants to climate amelioration: comparison of fellfields and snowbed communities. Arctic, Antarctic and Alpine Research, 42: 438-448.
- ・Kameyama, Y., Kasagi, T., and Kudo, G. (2008) A hybrid zone dominated by fertile F1s of two alpine shrub species, *Phyllodoce caerulea* and *Phyllodoce aleutica*, along a snowmelt gradient. Journal of Evolutionary Biology, 21: 588-597.
- ・Kameyama, Y., Kasagi, T., and Kudo, G. (2006) Eight microsatellite markers for sympatric alpine shrubs, *Phyllodoce aleutica* and *P. caerulea* (Ericaceae). Molecular Ecology Notes, 6: 402-404.
- ・Kasagi, T. and Kudo, G. (2005) Interspecific pollinator movements and heterospecific incompatibility: comparisons between *Phyllodoce caerulea* and *Phyllodoce aleutica* along snowmelt gradients. Evolutionary Ecology Research, 7: 73-87.
- ・Kasagi, T. and Kudo, G. (2003) Variations in bumblebee preference and pollen limitation among neighboring populations: comparisons between *Phyllodoce caerulea* and *Phyllodoce aleutica* (Ericaceae) along snowmelt gradients. American Journal of Botany, 90: 1321-1327.

【研究発表】

- ・北川雄一, 他3名&笠木哲也 (2017) 「ナラ枯れ後の落葉樹の分布パターン」 日本森林学会第128回大会
- ・笠木哲也, 木村一也, Windra Priawandiputra, 壺内巧馬, 宇都宮大輔, 中村浩二 (2014) 「ツリフネソウにおける訪花昆虫相の違いと送粉成功の関係」 日本生態学会第61回大会
- ・Windra Priawandiputra, Tetsuya Kasagi, and Koji Nakamura (2013) 「Comparison of flowering plant-bee linkages between two types of satoyama habitats in Kanazawa, Japan」 Entomology 2013 of Entomological Society of America
- ・笠木哲也, 宇都宮大輔, 中村浩二 (2011) 「農地生態系において外来植物の開花が在来ハナバチ相に及ぼす影響」 応用動物昆虫学会第55回大会
- ・笠木哲也, 宇都宮大輔, 木村一也, 中村浩二 (2011) 「植物群集の開花フェノロジーとハナバチ相の関係に対する外来植物の影響」 日本生態学会第58回大会
- ・Tetsuya Kasagi (2010) 「Biodiversity and ecosystem in Noto Peninsula: perspectives from satoyama and satoumi」 The 4th International Symposium on Environment of Rim of the Japan/East sea

社会貢献活動

- ・鳥取市環境審議会委員 (2016～)
- ・白山自然保護調査研究会/幹事 (2015～)
- ・石川県民白山講座/講演「白山の高山植物と花粉を運ぶハナバチ類の関係」(2014: 白山市)
- ・七尾市・金沢大学連携ワークショップ「七尾市における自然・社会環境の現状」/講演「熊木川流域におけるハナバチ調査の概要」(2012: 七尾市)
- ・ニッセイ財団環境問題助成「里山の環境モザイクを活用したハナバチ共生フィールドの創出」/代表 (2010)
- ・金沢大学「植物スケッチ展」/企画運営 (2008: 石川県立美術館広坂別館)